

2026年
合格目標

1級建築施工管理技士

資格の学校
TAC

一次検定過去問 の 出題傾向

徹底解説



担当

松島 怜香 講師

TAC

2026年合格目標

1級建築施工管理技士
一次検定の

傾向と対策



担当
松島 怜香 講師

ショートVer. も、あります。

- 一次→ 19歳以上誰でもOK
- 全70問中 60問解答
→応用能力問題 10問
- 全体 6割 36点 / 応用 6割
- 合格率 36~40%
(R7 48.5%)
- 2年前 & 4年前から多出題
→前年は、(ほぼ) 出ない
- 8年過去問題集で、
74% 網羅
- TACカリキュラム

本日の内容

- ◆ 受検日程
- ◆ 令和7年度 どれくらい過去問から出ている？ Part 1
- ◆ 令和8年度 出題予想
- ◆ Pre講義－塗膜防水
- ◆ どれくらい過去問から出ている？ Part 2
- ◆ 講座紹介

概要

受検日程

出典：（一財）建設業振興基金 試験研修本部

「令和8年度 建築及び電気工事施工管理技術検定実施日程について」

<https://www.fcip-shiken.jp/1bad444206ded56f262fc74c3693372c.pdf>

	書面申請	インターネット申請
令和 8年 1月30日(金)	第一次検定・第二次検定申請書販売開始	
2月13日(金)	第一次検定・第二次検定申請受付開始	第一次検定・第二次検定申請受付開始
2月27日(金)	第一次検定・第二次検定申請受付締切	第一次検定・第二次検定申請受付締切
4月 7日(火)		第一次検定のみ申請受付締切
6月29日(月)	建築 第一次検定受検票送付	
7月19日(日)	建築 第一次検定 実施	
8月25日(火)	第一次検定合格発表 当年度第一次検定合格者の第二次検定受検手数料払込受付開始	
9月 8日(火)	当年度第一次検定合格者の第二次検定受検手数料払込受付締切	
9月28日(月)	第二次検定受検票送付	
10月18日(日)	第二次検定 実施	
令和 9年1月8日(金)	第二次検定合格発表	

どのくらい過去問から出ているのか

令和7年度 一次検定問題

【No,38】鉄筋コンクリート構造の建築物の内部断熱工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- R3-38③** ① 押出法ポリスチレンフォーム張付け工法において、セメント系下地調整塗材を用いて隙間ができないようにしてから、断熱材を全面接着で張り付けた。
- H27-43 ②類** ② 押出法ポリスチレンフォーム打込み工法において、熱橋防止のため、天井の吊りボルトの吊元となるインサートを樹脂製のものとした。
- R1-43①** ~~③~~ 硬質ウレタンフォーム吹付け工法において、厚さ5mmの下吹きの後、多層吹き各層の厚さは各々~~40mm~~^{30mm}以下とした。
- R1-43②** ④ 硬質ウレタンフォーム吹付け工法において、冷蔵倉庫で断熱層が特に厚かったため、1日の最大吹付け厚さを80mmとした

【No,39】外壁ALCパネル工事の縦壁ロッキング構法に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 新規** ① 外壁パネル下部において、取合いのコンクリート面に設けた定規アングルとパネル下面との間のパネル幅方向中央部に、Rスペーサーを設置した。
- R3-39②** ② 外壁パネルと間仕切パネルの取合い部は伸縮目地とし、目地幅は10mmから20mmとした。
- R3-39③** ③ 外壁パネル間の横目地は伸縮目地とし、目地幅は10mmとした。
- R3-39④** ~~④~~ 耐火性能が要求される伸縮目地には、~~モルタル~~を充填した。
耐火目地材

令和7年度 ↓

【No,38】鉄筋コンクリート構造の建築物の内部断熱工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

R3-38③ ① 押出法ポリスチレンフォーム張付け工法において、セメント系下地調整塗材を用いて隙間ができないようにしてから、断熱材を全面接着で張り付けた。

H27-43 ② 押出法ポリスチレンフォーム打込み工法において、熱橋防止のため、天井の吊りボルトの吊元となる
②類 インサートを樹脂製のものとした。

R1-43① ~~③~~ 硬質ウレタンフォーム吹付け工法において、厚さ5mmの下吹きの後、多層吹き各層の厚さは各々
~~40mm~~以下とした。
30mm

R1-43② ④ 硬質ウレタンフォーム吹付け工法において、冷蔵倉庫で断熱層が特に厚かったため、1日の最大吹付け厚さを80mmとした

R1-43 ↓

【No,43】鉄筋コンクリート造建築物の内部の断熱工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

① 硬質ウレタンフォーム吹付け工法において、厚さ5mmの下吹きの後、多層吹き各層の厚さは各々30mm以下とした。

~~②~~ 硬質ウレタンフォーム吹付け工法において、冷蔵倉庫で断熱層が特に厚かったため、1日の最大吹付け厚さを~~100mm~~
80mmとした。

③ 押出法ポリスチレンフォーム打込み工法において、断熱材の継目は突付けとし、テープ張りをしてコンクリートの流出を防止した。

R3-38③ ④ 押出法ポリスチレンフォーム張付け工法において、躯体面とのすき間が生じないように断熱材を全面接着とし、密着させて張り付けた。

令和7年度 ↓

【No,39】 外壁ALCパネル工事の縦壁ロッキング構法に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

新規

① 外壁パネル下部において、取合いのコンクリート面に設けた定規アングルとパネル下面との間のパネル幅方向中央部に、Rスペーサーを設置した。

R3-39② ② 外壁パネルと間仕切パネルの取合い部は伸縮目地とし、目地幅は10mmから20mmとした。

R3-39③ ③ 外壁パネル間の横目地は伸縮目地とし、目地幅は10mmとした。

類

R3-39④ ~~④~~ 耐火性能が要求される伸縮目地には、~~モルタル~~を充填した。

耐火目地材

R3-39 ↓

【No,39】 ALCパネル工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

① パネルの取扱い時に欠けが生じたが、構造耐力上は支障がなかったため、製造業者が指定する補修モルタルで補修して使用した。

② 外壁パネルと間仕切パネルの取合い部には、幅が10～20mmの伸縮目地を設けた。

③ 外壁の縦壁ロッキング構法の横目地は伸縮目地とし、目地幅は15mmとした。

~~④~~ 耐火性能が要求される伸縮目地には、~~モルタル~~を充填した。

耐火目地材

令和 8 年度 出題予想

	出題項目	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
地盤調査 第1章	1 地盤調査				★				
	2 土質試験		★					★	
仮設工事 第2章	1 ベンチマーク・墨出し								
	2 乗入れ構台・荷受け構台	★	★	★	★	★	★	★	★
土工事 第3章	1 掘削・床付け								★
	2 地下水処理		★				★		
	3 埋戻し・盛土・地ならし								
	4 異状現象	★		★		★			
山留め工事 第4章	1 山留め壁	★		★				★	
	2 山留め支保工								
	3 計測管理					★			
基礎・地業工事 第5章	1 既製杭		★		★		★		★
	2 場所打ちコンクリート杭	★		★		★		★	
	3 杭工事全般における 施工管理他								
	4 地盤改良工事								
鉄筋工事 第6章	1 鉄筋								
	2 鉄筋の加工・組立て						★		★
	3 鉄筋の定着・継手	★★	★★	★★	★★	★	★	★★	★
	4 配筋								
型枠工事 第7章	1 材料								
	2 型枠の設計と加工・組立て	★	★	★	★	★	★	★	★
	3 型枠の存置期間								

R8



	出題項目	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
工事 コンクリート 第8章	1 コンクリートの調合		★	★	★	★	★		★
	2 製造・受入れ・運搬・ 打込み・養生	★★	★	★	★	★	★	★★	★
	3 各種コンクリート								
鉄骨工事 第9章	1 工場作業							★	
	2 溶接		★		★		★		
	3 防錆処理								
	4 建方	★	★	★	★	★	★	★	★
	5 高力ボルト接合	★		★		★			★
	6 耐火被覆工法								
等 木造建築物 第10章	1 大断面木造建築物								
	2 木質構造のポイント	★	★	★	★	★	★	★	★
耐震 改修工事 第11章	1 あと施工アンカー								
	2 現場打ち鉄筋コンクリート 壁の増設工事						★		
	3 柱補強工事				★				★
	4 鉄骨ブレース増設工事								
	5 耐震スリット新設工事								
解体工事 第12章	1 躯体解体工法								
建設機械 第13章	1 地業工事及び土工事用の 建設機械						★		
	2 揚重運搬機械	★	★	★	★	★		★	★

R8



	出題項目	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
施工計画 第1章	1 施工計画の基本・仮設計画・仮設備	★★	★	★★	★	★★	★	★	★★	★
	2 事前調査・準備		★		★		★	★		
	3 施工計画	★★★	★★★★	★★★★		★		★		
	4 材料等の保管・取扱い	★	★	★	★	★	★	★	★	★
	5 届出		★		★		★		★	
	6 工事記録他	★		★		★		★		
	工程管理 第2章	1 工程計画の基本	★	★★		★	★★		★	★
2 工程表		★★	★	★★★★	★	★	★			
3 工程の進捗管理・短縮・合理化・歩掛り		★	★	★	★		★★	★	★	
品質管理 第3章	1 品質管理の基本	★		★		★		★		
	2 品質管理用語・各種管理図	★	★★★★	★	★		★		★	
	3 検査・試験の基本	★	★	★	★		★			
	4 躯体工事の検査・試験	★★	★★	★★	★	★	★	★	★	
	5 仕上げ工事の検査・試験	★	★	★			★		★★	
	6 解体工事の騒音・振動対策	★		★		★		★		
安全管理 第4章	1 労働災害・安全管理の基本	★	★	★		★		★		
	2 公衆災害防止	★	★	★	★	★	★		★	
	3 作業主任者	★	★	★	★	★	★		★	
	4 足場	★	★	★	★		★	★		
	5 事業者の責務－労働安全衛生規則	★	★	★	★	★	★	★		
	6 事業者の責務－車両系建設機械・クレーン他	★	★	★	★		★	★	★	
	7 事業者の責務－酸欠・有機溶剤		★	★		★		★	★	
	8 工具等の携帯に関する法律	★								

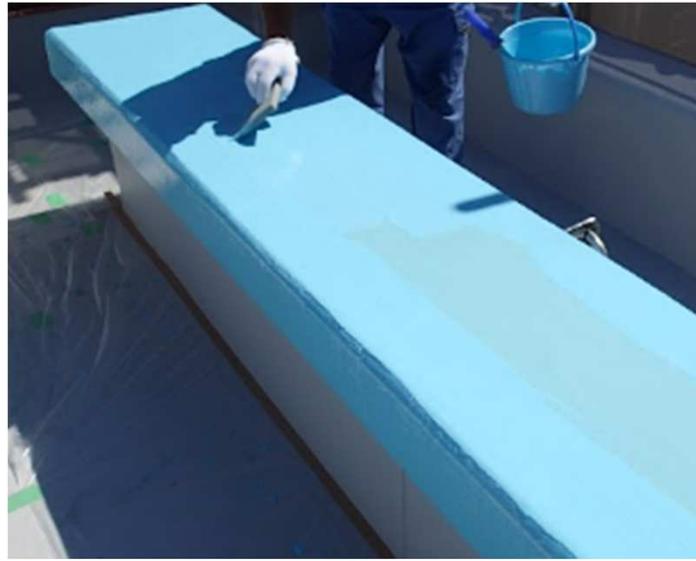
	出題項目	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
建築基準法 第1章	1 用語の定義		★		★		★		★	★
	2 建築確認	★		★		★	★	★		
	3 適用除外・維持保全等	★	★	★	★	★		★	★	
	4 防災地域及び準防火地域内の建築物									
	5 防火区画等		★		★		★		★	
	6 内装制限	★								
	7 避難関係の規定			★		★		★		
	8 その他の規定									
建築基準法 第2章	1 用語の定義									
	2 許可制度	★	★	★	★	★	★	★	★★	
	3 請負契約	★	★★	★	★★	★	★★	★	★	
	4 主任技術者・監理技術者	★		★		★		★		
労働基準法 第3章	1 労働条件の基本									
	2 労働契約	★		★		★	★		★	
	3 年少者・女性		★		★			★		
	4 災害補償その他									
労働安全衛生法 第4章	1 管理体制	★	★	★	★	★	★	★	★	
	2 安全衛生教育等	★	★	★	★	★	★	★	★	
	3 作業主任者									
	4 計画の届出									
法規関連 第5章	1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)		★		★		★		★	
	2 建設リサイクル法	★		★		★		★		
その他関連法規 第6章	1 騒音規制法	★		★		★		★		
	2 振動規制法		★		★		★		★	
	3 宅地造成及び特定盛土等規制法		★		★		★		★	
	4 消防法									
	5 道路交通法	★		★		★		★	★	

防水工事 塗膜防水

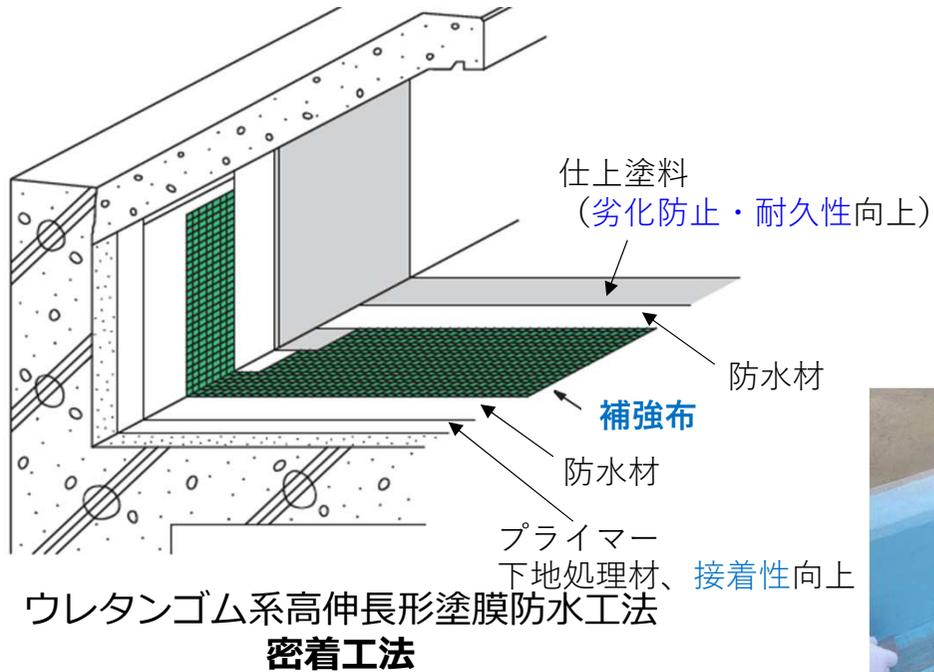
Pre講義

塗膜防水とは

防水材を**塗**り重ねて、**膜**を作って**防水**する工法



塗膜防水 施工手順、材料



躯体とくっついてる

「密着工法」：補強布を敷き込み塗膜をつくる

躯体と縁が切れてる

「絶縁工法」：通気緩衝シートを張り付けた上に、塗膜をつくる



【補強布】

- ① 仮敷き
→よく馴染ませ
防水材を塗りながら張り付け
- ② 重ね幅：50mm以上
- ③ 打継ぎ・ひび割れ部は、
幅100mm以上の補強布
+補強塗り



塗膜防水 防水材の塗布、管理

【防水材の塗布】

- ① 塗継ぎの重ね幅：**100mm**以上
- ② ウレタンゴム系：硬化物比重1.0（比重1.3）

平場部 **3.0**(3.9)kg/m² 立上り部 **2.0**(2.6)kg/m²
塗膜厚さ 平場：平均**3**mm 立上り：平均**2**mm

平 場 使用量(kg/m²) = 3.0(kg/m²) × 硬化物比重
立上り部 使用量(kg/m²) = 2.0(kg/m²) × 硬化物比重

【防水材の使用量の管理（膜厚の管理）】

$$\frac{\text{使用済み容器の数（総使用量）}}{\text{対象施工範囲面積}} = \text{単位面積当たりの平均使用量}$$

塗膜防水 絶縁工法

躯体と縁が切れてる

【絶縁工法（通気緩衝工法）】

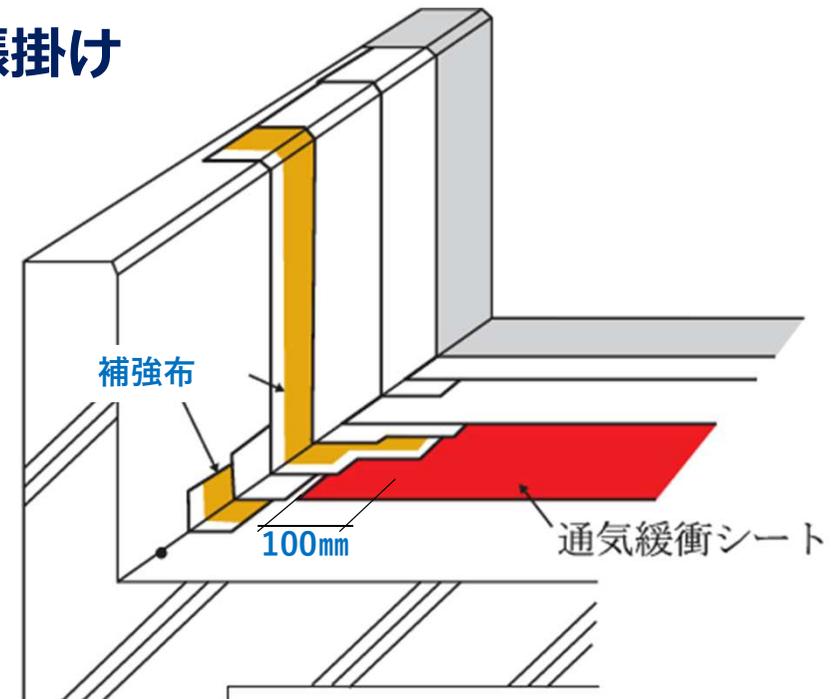
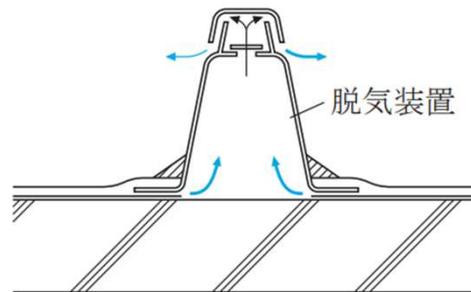
① **通気緩衝シート**：接着剤を塗布し、シート相互を**突付け張り**

② 立上り面→密着工法

平場部と立上り部の接合部

→補強布を平場部の**通気緩衝シート**の上に**100mm**張掛け

③ **脱気装置**@25~100m²



防水工事 塗膜防水

Pre講義 おわり

難易度 問題 238
B

塗膜防水

防水工事
R1-35

塗膜防水に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- ① ゴムアスファルト系防水材料の室内平場部の総使用量は、固形分60%のものを
使用するため、4.5kg/m²とした。
- ② ウレタンゴム系絶縁工法において、通気緩衝シートの相互の重ね幅は、
50mmとした。
- ③ ゴムアスファルト系吹付工法において、防水材料の塗継ぎの重ね幅は、100mm
とした。
- ④ ウレタンゴム系防水材料の立上り部の総使用量は、硬化物比重1.0のものを
使用するため、2.0kg/m²とした。

難易度 問題 239
B

塗膜防水

防水工事
R3-31

ウレタンゴム系塗膜防水に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- ① 絶縁工法において、立上り部の補強布は、平場部の通気緩衝シートの上に
100mm張り掛けて防水材料を塗布した。
- ② 平場部の防水材料の総使用量は、硬化物比重が1.0だったため、3.0kg/m²とした。
- ③ コンクリートの打継ぎ箇所は、U字形に斫り、シーリング材を充填した上、
幅100mmの補強布を用いて補強塗りを行った。
- ④ 絶縁工法において、防水層の下地からの水蒸気を排出するための脱気装置
は、200m²に1箇所の割合で設置した。

難易度 問題 240
C

塗膜防水

応用

防水工事
R6-54

塗膜防水に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- ① ウレタンゴム系塗膜防水の絶縁工法において、立上り部の補強布は、平場
部の通気緩衝シートの上に100mm張り掛けた。
- ② ウレタンゴム系塗膜防水の絶縁工法において、平場部の防水材料の総使用量
は、硬化物比重が1.3だったため、3.9kg/m²とした。
- ③ ウレタンゴム系塗膜防水の絶縁工法において、通気緩衝シートの重ね幅は、
50mmとした。
- ④ ゴムアスファルト系塗膜防水工法において、補強布の重ね幅は、50mmとした。
- ⑤ ゴムアスファルト系防水材料の室内平場部の総使用量は、固形分60%のものを
使用するため、4.5kg/m²とした。

H29-35①					ウレタンゴム系防水材の塗継ぎの重ね幅を50mm、補強布の重ね幅を100mmとした。	×
R1-35③					ゴムアスファルト系吹付工法において、防水材の塗継ぎの重ね幅は100mmとした。	○
H29-35②				●	ウレタンゴム系絶縁工法において、立上り部の補強布は、平場部の通気緩衝シートの上に100mm張り掛けて防水材を塗布した。	○
R3-31①	H29-35②				ウレタンゴム系絶縁工法において、立上り部の補強布は、平場部の通気緩衝シートの上に100mm張り掛けて防水材を塗布した。	○
R6-54①					ウレタンゴム系塗膜防水の絶縁工法において、立上り部の補強布は平場部の通気緩衝シートの上に100mm張り掛けた。	○
R1-35②					ウレタンゴム系絶縁工法において、通気緩衝シートの相互の重ね幅は、50mmとした。	×
R6-54③					ウレタンゴム系塗膜防水の絶縁工法において、通気緩衝シートの重ね幅は、50mmとした。	×
H29-35③				●	ウレタンゴム系防水材の平場部の防水材の総使用量は、硬化物比重が1.0だったので、3.0kg/m ² とした。	○
R3-31②	H29-35③				ウレタンゴム系防水材の平場部の防水材の総使用量は、硬化物比重が1.0だったため、3.0kg/m ² とした。	○
R6-54②					ウレタンゴム系塗膜防水の絶縁工法において、平場部の防水材の総使用量は、硬化物比重が1.3だったため、3.9kg/m ² とした。	○
R1-35④					ウレタンゴム系防水材の立上り部の総使用量は、硬化物比重1.0のものを使用するため、2.0kg/m ² とした。	○
R1-35①				●	ゴムアスファルト系防水材の室内平場部の総使用量は、固形分60%のものを使用するため、4.5kg/m ² とした。	○
R6-54⑤	R1-35①				ゴムアスファルト系防水材の室内平場部の総使用量は、固形分60%のものを使用するため、4.5kg/m ² とした。	○
R6-54④					ゴムアスファルト系塗膜防水工法において、補強布の重ね幅は、50mmとした。	○

R6 本試験問題

[No. 54] 塗膜防水に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- ウレタンゴム系塗膜防水の絶縁工法において、立上り部の補強布は、平場部の通気緩衝シートの上に100 mm張り掛けた。
- ウレタンゴム系塗膜防水の絶縁工法において、平場部の防水材の総使用量は、硬化物比重が1.3だったため、3.9 kg/m²とした。
- ウレタンゴム系塗膜防水の絶縁工法において、**通気緩衝シート**の重ね幅は、~~50 mm~~とした。
突付け
- ゴムアスファルト系塗膜防水工法において、補強布の重ね幅は、50 mmとした。
- ゴムアスファルト系防水材の室内平場部の総使用量は、固形分60%のものを使用するため、4.5 kg/m²とした。

R6 TAC公開模試

[No. 58] 塗膜防水工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- ウレタンゴム系絶縁工法において、通気緩衝シートは、接着剤を塗布しシート相互を突き付けて張り付けた。
- ゴムアスファルト系吹付工法において、防水材の**塗継ぎ**の重ね幅は、~~50 mm~~とした。
100mm
- ウレタンゴム系絶縁工法において、立上り部の補強布は、平場部の通気緩衝シートの上に100mm張り掛けて防水材を塗布した。
- ウレタンゴム系塗膜防水において、防水材の塗布による防水層の施工については、立上り部、平場部の順に行った。
- 絶縁工法において、防水層の下地からの水蒸気を排出するための脱気装置は、100 m²に1箇所の割合で設置した。

講座紹介

対策 一次カリキュラム

2025年 12月	早期学習 Web	■ 構造力学入門 ————— 全21回 ■ 建築施工入門 ————— 全6回
2026年 3月 4月	本講義	■ 躯体工事 ————— 全6回 ■ 仕上工事 ————— 全5回 ■ 施工管理法 ————— 全4回
	中間テスト・解説①	
5月	本講義	■ 建築学 ————— 全6回 ■ 設備等 ————— 全1回 ■ 外構他・積算・契約 ——— 全1回 ■ 法規 ————— 全2回
6月	中間テスト・解説②	

	直前演習	■ 五肢択一演習 ————— 全3回
	全国公開模試	
7月	直前演習	■ 直前予想講義 ————— 全1回 ■ 直前答練 ————— 全1回 ■ 過去問セレクト演習 ——— 全2回
	本試験	

対策 一次カリキュラム

教室

3/8

START

躯体1
躯体2
躯体3
躯体4
躯体5
躯体6
仕上げ1
仕上げ2
仕上げ3
仕上げ4
仕上げ5
施工管理法1
施工管理法2
施工管理法3
施工管理法4
中間テスト①

4/26

5/3

建築学1
建築学2
建築学3
建築学4
建築学5
建築学6
設備等
外構他・積算・契約
法規1
法規2
中間テスト②

6/7

6/21

五肢択一演習(躯体)
五肢択一演習(仕上げ)
五肢択一演習(施工管理法)
公開模試
直前予想講義
直前答練
過去問セレクト演習①
過去問セレクト演習②

7/5

7/19

一次検定試験

わかって合格る
1級建築
施工管理技士
基本テキスト
1st class construction site manager
 オールカラー

3分冊

過去8年間の一次検定(学科試験)の出題箇所
 アンダーライン&出題年度表示

重要ポイント
 まるわかり!

ぱっと見てわかる
 豊富なイラスト図解

1級建築施工管理技士対策書籍
 「わかって合格る」シリーズ
 ★★
売上 No.1

TAC出版

わかって合格る
1級建築
施工管理技士
一次検定8年過去問題集
1st class construction site manager

4分冊

7年分は
 学習効果抜群の「科目別」
 最新1年分は
 本試験形式がわかる「年度別」

8年分まるごと収録

+2年分
 Webダウンロード
 サービス

ぱっと見てわかる
 豊富なイラスト図解
 【基本テキストと完全リンク!】

1級建築施工管理技士対策書籍
 「わかって合格る」シリーズ
 ★★
売上 No.1

TAC出版

わかって合格る
1級建築
施工管理技士
二次検定テキスト&12年過去問題集
1st class construction site manager

4分冊

二次検定に徹底特化
 12年分
 本試験 & 経験記述は各3例

これ1冊で完全制覇!

ぱっと見てわかる
 豊富なイラスト図解

1級建築施工管理技士対策書籍
 「わかって合格る」シリーズ
 ★★
売上 No.1

TAC出版

販売中

3月中旬～

資格の学校 **TAC** 1級建築施工管理技士講座
1級土木施工管理技士講座

★インターネット限定★

冬割 e 受付 クーポン

《期間限定》
1月6日～
2月28日

¥22,000割引

- ★ 一次対策 [冬割 e 受付クーポン受講料] 143,000円 (税込・教材費込)
[アンダー25冬割 e 受付クーポン受講料] 110,000円 (税込・教材費込)
- ★ トータル [冬割 e 受付クーポン受講料] 220,000円 (税込・教材費込)
[アンダー25冬割 e 受付クーポン受講料] 187,000円 (税込・教材費込)

一次対策本科生



一般教育訓練給付制度
対象コースです

条件を満たして修了した場合、受講料の一部が支給される制度です。
詳細は「教育訓練給付制度パンフレット」をご覧ください。

特長

一次検定の全範囲をマスターできるスタンダードコースです

教材

「**わかって合格る 1級建築施工管理技士 基本テキスト**」(TAC出版)

「**わかって合格る 1級建築施工管理技士 一次検定8年過去問題集**」(TAC出版)

※上記のほか、各種テスト・公開模試等。 ※上記は当講座受講料に含まれています。

教室講座講義時間

新宿校
午後1 13:30~16:00
午後2 16:30~19:00

なんば校
午後1 13:00~15:30
午後2 16:00~18:30

通学開講地区



教室講座

新宿校
なんば校



ビデオブース講座

札幌校・仙台校・水道橋校・新宿校・池袋校・渋谷校・八重洲校・立川校・町田校・
大宮校・津田沼校・名古屋校・京都校・梅田校・なんば校・神戸校・広島校・福岡校

通常受講料

学習メディア



教室講座



ビデオブース講座



Web通信講座

通常受講料 **165,000円**   Webフォロー標準装備

※アンダー25 (25歳以下または学生の方)
¥33,000引き → ¥132,000-

[冬割 e 受付クーポン受講料] 143,000円 (税込・教材費込)

[アンダー25冬割 e 受付クーポン受講料] 110,000円 (税込・教材費込)

一次本科生と同時お申込みで！ ¥22,000OFF

> 二次対策本科生

[開講] 2026年8月

[講義] 早期6回 + 本科14回

[記述] 添削3回

※一般教育訓練給付制度対象 (Web通信のみ)

記述対策を含め、二次検定試験の全範囲をマスターできるスタンダードコース

記述対策にウエイトを置きながら、二次検定の範囲を効率的に学習します。充実の添削3回付！

二次対策本科生は一次検定の合格者のために記述にウエイトを置いたカリキュラムとしています。記述の書き方から答案添削まで最終合格を目指して指導します。

[通常受講料] 99,000円(税込・教材費込) ※アンダー25はございません。

トータル本科生

一次検定と二次検定の一発合格を目指すコースです

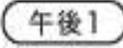
「わかって合格る 1級建築施工管理技士 基本テキスト」(TAC出版)

「わかって合格る 1級建築施工管理技士 一次検定8年過去問題集」(TAC出版)

「わかって合格る 1級建築施工管理技士 二次検定テキスト&12年過去問題集」(TAC出版)

※上記のほか、各種テスト・公開模試等。経験記述(3回)の添削付。 ※上記は当講座受講料に含まれています。

教室講座講義時間

新宿校  13:30~16:00
 16:30~19:00

なんば校  13:00~15:30
 16:00~18:30

※ 二次は「新宿校 平日」
アリ☑

通学開講地区

 新宿校
なんば校
教室講座

 札幌校・仙台校・水道橋校・新宿校・池袋校・渋谷校・八重洲校・立川校・町田校・大宮校・津田沼校・名古屋校・京都校・梅田校・なんば校・神戸校・広島校・福岡校
ビデオブース講座

通常受講料

学習メディア  教室講座  ビデオブース講座  Web通信講座

受講料に教材費・消費税が含まれます。

通常受講料 242,000円   Webフォロー標準装備

※アンダー25
¥33,000引き → ¥209,000-

[冬割 e 受付クーポン受講料] 220,000円 (税込・教材費込)

[アンダー25冬割 e 受付クーポン受講料] 187,000円 (税込・教材費込)



これも活用しよう
文章問題〇×形式
モバイル問題集
「Webトレーニング」

いつでも何度でも好きなときに受講！

【全メディア】Webフォロー付

質問メール



いつでも質問できる！



疑問が生じた場合は、いつでもメールで質問できる安心のサポートです。返信は即日～基本3日以内、遅くとも1週間以内に対応しております。

——— 全国のTACを利用可能！通信生もご利用いただけます

自習室 本科生限定

予約不要



講義の行われていない教室を自習室として開放しています。本科生の方は受講期間中、全国のTACの教室を自由にご利用いただけます。

オンライン
 自習室も好評！

TAC × Herazika 共催企画

